

(様式3)

事業所名 グループホーム親孝の里

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者や家族からの意見や要望等が寄せられることが少ない。また、第三者委員会が設置されていない。	・利用者や家族が意見や要望等を気軽に寄せられるようになる。 ・第三者委員会を設置する。	・利用者や家族に向け、アンケート等を実施する。 ・第三者委員会を設置する。	12ヶ月
2	6	身体拘束の弊害や、やむを得ない場合の要件等についての勉強をする機会がない。	・身体拘束の弊害ややむを得ない場合の要件等についての勉強をする機会を作る。	・勉強会で身体拘束の弊害や、やむを得ない場合の要件等についてを学ぶ。	2ヶ月
3	5	地域の他のグループホームなどとの情報交換をすることが少ない。	・地域の他のグループホームなどとの情報交換の機会を増やす。	・運営推進会議や行事等に他の地域のグループホームを招いて交流・情報交換する。	12ヶ月
4	22	利用者の情報収集において、職員によって偏りが出がちである。	・利用者の情報収集において、職員による偏りが出ないよう、アセスメントシートを工夫する。	・職員による偏りの出づらい、工夫されたアセスメントシートを作成する。	6ヶ月
5	33	実際の夜間には災害の訓練を行ったことがない。	・夜間に災害が発生した際の課題点を把握する。	・実際の夜間に災害の訓練を行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。